

## 補足調査結果

## これまでの対策等の評価分析（立入防止柵・木道の効果確認調査）

## 1. 調査目的

利用者による踏圧による歩道脇の植生への影響回避、裸地化の防止・歩道路面の荒廃防止等を目的として設置された立入防止柵・木道の効果を今後下記の観点から確認していくための基礎データを収集するもの。

- (1) 木道の設置による歩道脇における裸地の拡大防止効果の確認
- (2) 木道脇および利用されなくなった旧歩道における植生回復状況の確認

## 2. 調査方法

## (1) 調査地点

調査は、東大台園路のうち木道設置区間（日出ヶ岳分岐～ヌタバ：H11 年度設置）および歩道整備区間（正木ヶ原～尾鷲辻：注1）。

## 1) 木道設置区間

- ①新たに木道を設置した箇所・・・木道脇の裸地化防止効果
- ②旧歩道上の木道設置箇所・・・旧歩道脇の裸地化部分の植生回復状況、木道下の土壌の安定状況
- ③利用されなくなった旧歩道箇所（復路化部分を含む）・・・裸地化部分の植生回復状況

## 2) 歩道整備区間・・・裸地化部分の植生回復状況

注1：今年度、奈良県により歩道再整備が行われた箇所。工事完了後、調査を実施。

## 2) 調査方法

木道設置区間および歩道整備区間において、木道および歩道の両脇5mを目安に調査を実施。

平面図に複線化した箇所を記録するとともに、平面図を1mメッシュに区切り、メッシュごとに植生の被度について記録した。

表 植生の被度について

被度	植被率 (%)	被度	植被率 (%)
5	75～100	1	5～10
4	50～75	+	5%未満
3	25～50	0	なし
2	10～25		

また、木道下の旧歩道については土留め柵等の構造物の位置等を記録するとともに、土壌の堆積状況を記録した。

## 3) 調査時期

平成16年9月～10月

### 3. 調査結果

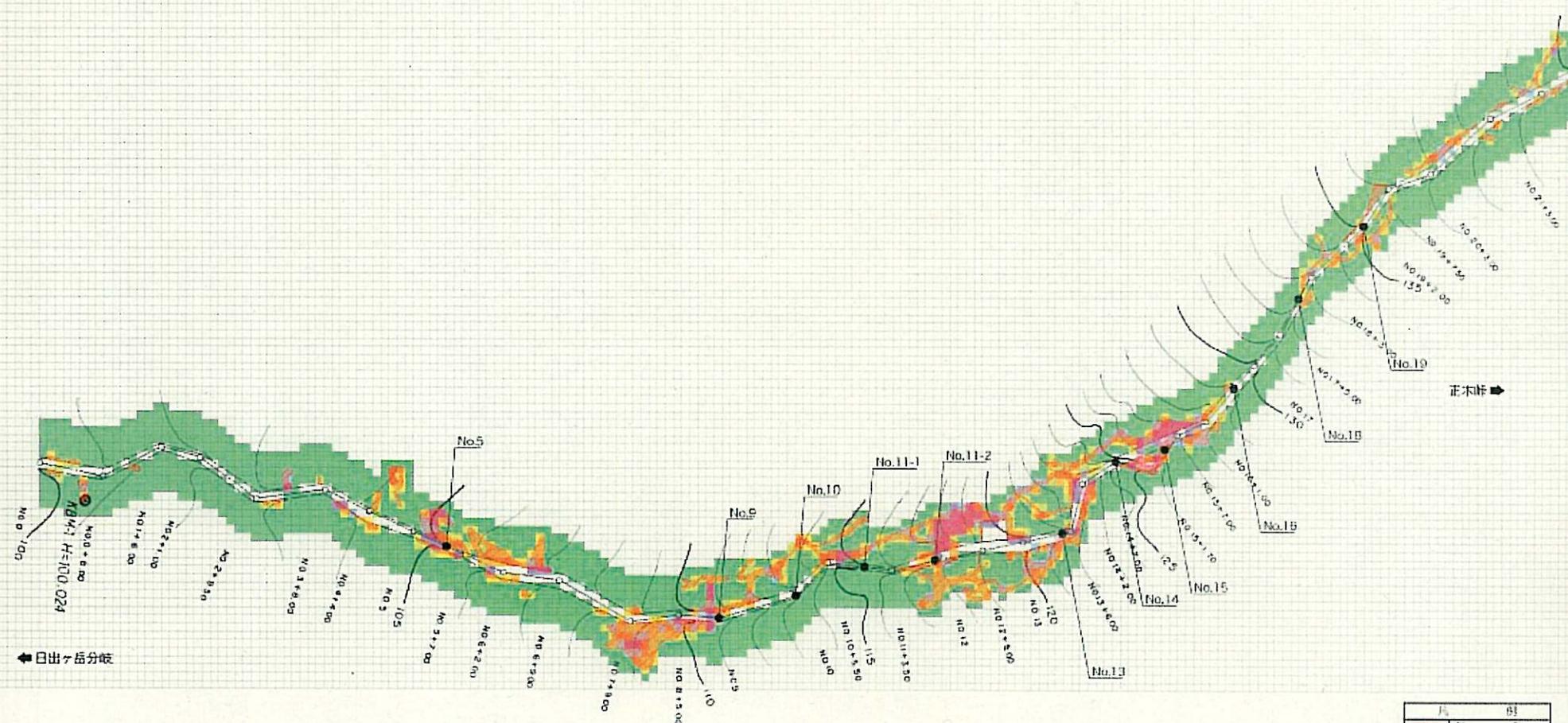
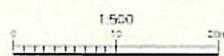
今回の調査結果の概要は以下のとおり（図1，2参照）であるが、今後継続的に調査を行い、長期的観測によるデータの蓄積を図る。

#### 1) 木道設置区間

- ① 新たに木道を設置した箇所の木道脇はほとんど被度5であり、踏み込みは確認されなかった。
- ② 木道脇の踏み込み跡は、被度が低い箇所が多いが、踏み込み跡部分には、スマレ類等の生育が確認され、周辺のみヤコザサが踏み跡を覆う様になっていた。ただし、正木峠のテラス付近では尾鷲が見える方向（東方向）に踏み込み跡が多数有り、木道外に裸地が存在した。
- ③ 旧歩道については、被度が低い箇所が多いが、多くの場所でスマレ類、コスギゴケ、ツツジ類、イネ科草本等が確認された。また、トウヒやヒノキ、ナナカマド等木本の実生が一部の箇所でも確認された。

#### 2) 歩道整備区間

- ① 本年度再整備を行ったところであり、複線化部分が多く、複線化部分は被度が低く、裸地に近い状態であった。



植 被	
植 度	植 別
5 (75%以上)	植 別
4 (50~75%)	
3 (25~50%)	
2 (10~25%)	
1 (5~10%)	
0 (0%未満)	
0 (植無し)	

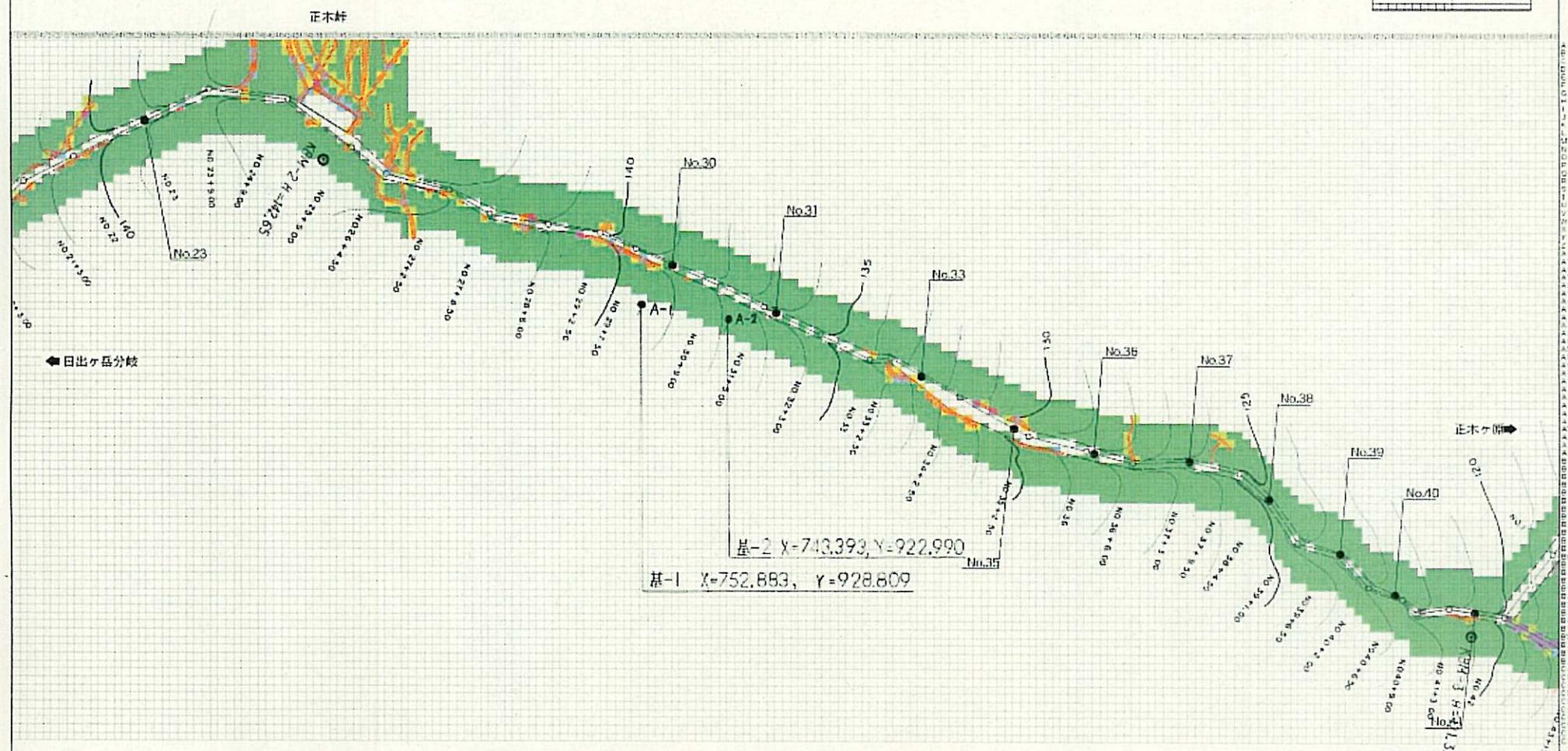
図1 踏跡と植生被度 (木道設置区間)

日出ヶ面分岐

正木峠

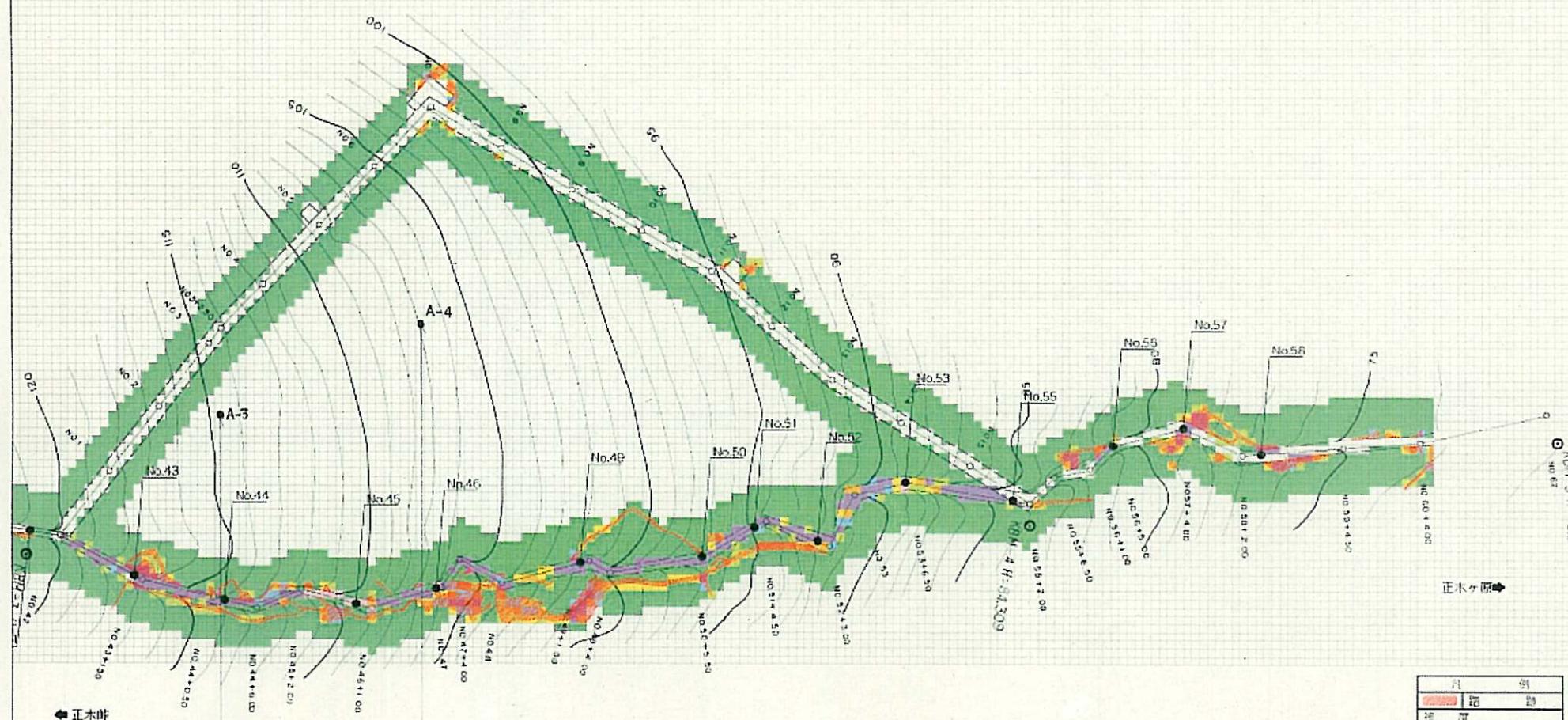
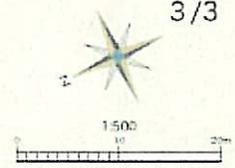


1:500  
0 10 20m



群	植 度
5	(75%以上)
4	(50-75%)
3	(25-50%)
2	(10-25%)
1	(5-10%)
+	(5%未満)
0	(無主なし)

図1 路跡と植生被度 (木道設置区間)



基-4 X=615.968, Y=859.015

基-3 X=643.293, Y=857.638

図1 踏跡と植生被度 (木道設置区間)

植生被度	割合
5	75%以上
4	50-75%
3	25-50%
2	10-25%
1	5-10%
0	植生なし

KM-5 H=73.270

正木ヶ原

正木峠

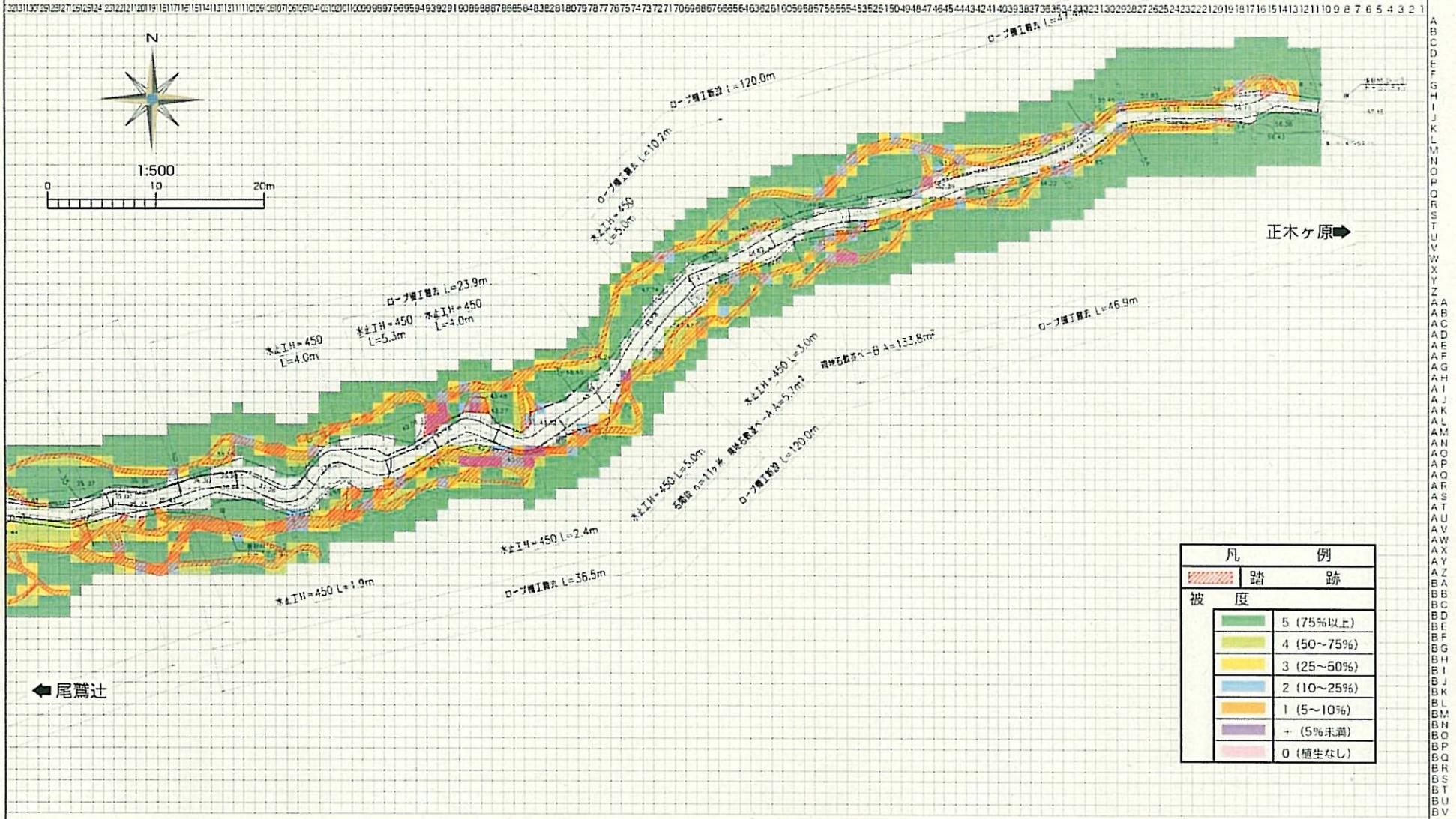
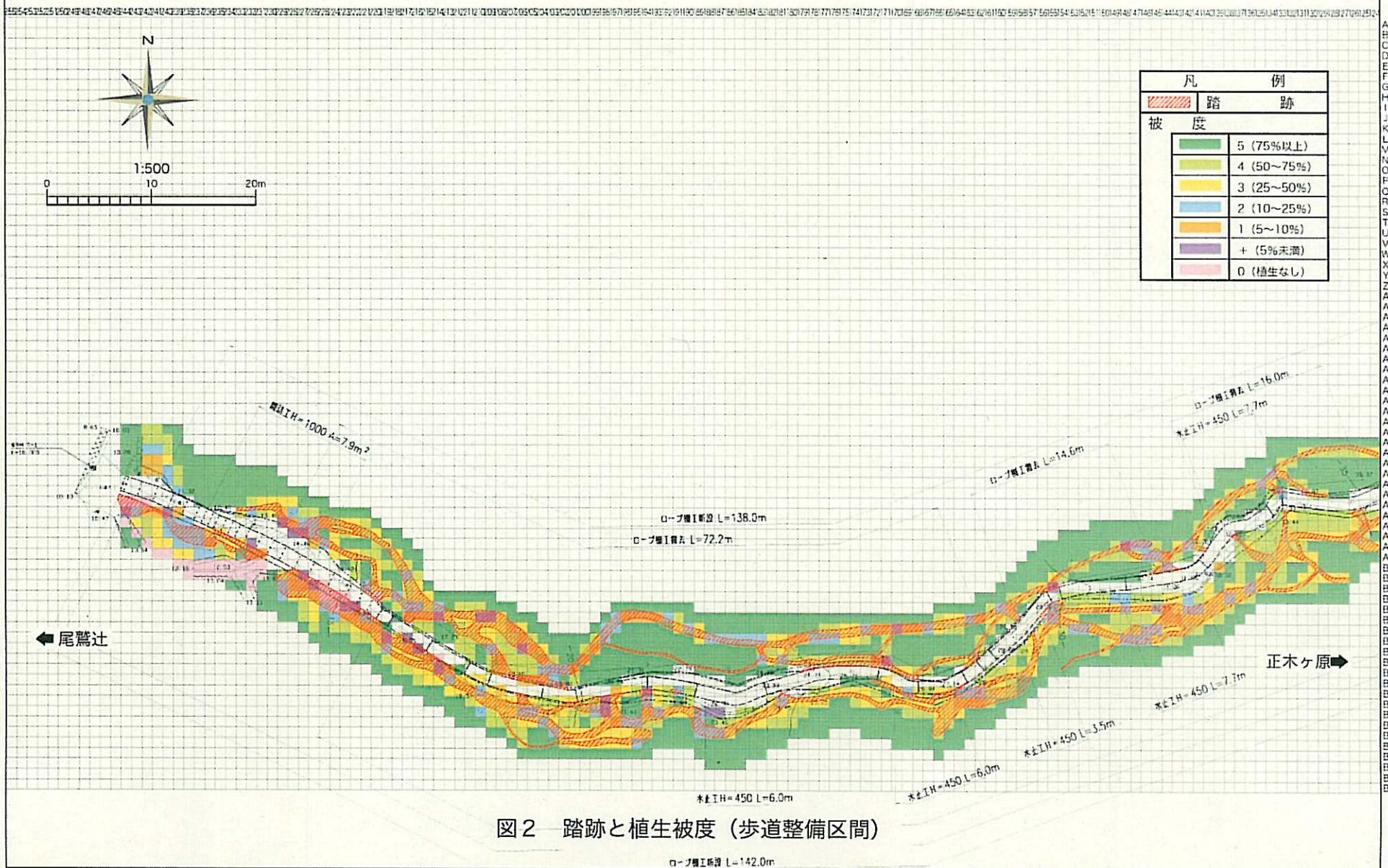


図2 踏跡と植生被度 (歩道整備区間)

凡 例	
	踏 跡
被 度	
	5 (75%以上)
	4 (50~75%)
	3 (25~50%)
	2 (10~25%)
	1 (5~10%)
	+ (5%未満)
	0 (植生なし)

A  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
I  
J  
K  
L  
M  
N  
O  
P  
Q  
R  
S  
T  
U  
V  
W  
X  
Y  
Z  
AA  
AB  
AC  
AD  
AE  
AF  
AG  
AH  
AI  
AJ  
AK  
AL  
AM  
AN  
AO  
AP  
AQ  
AR  
AS  
AT  
AU  
AV  
AW  
AX  
AY  
AZ  
BA  
BB  
BC  
BD  
BE  
BF  
BG  
BH  
BI  
BJ  
BK  
BL  
BM  
BN  
BO  
BP  
BQ  
BR  
BS  
BT  
BU  
BV



凡 例	
	踏 跡
被 度	
	5 (75%以上)
	4 (50~75%)
	3 (25~50%)
	2 (10~25%)
	1 (5~10%)
	+ (5%未満)
	0 (植生なし)

図2 踏跡と植生被度 (歩道整備区間)

ロープ橋1新設 L=142.0m